

性感染症に関する豆知識（おまけ）

妊娠や赤ちゃんに影響する一般感染症について「おまけ」としてお届けします。



No.S17-1（成人T細胞白血病(ATL)）

原因はヒトT細胞白血病ウイルス（HTLV-1）です。全国に100万人以上のウイルスキャリアがいます。

No.S17-2（成人T細胞白血病(ATL)）

数十年後に成人T細胞白血病になる場合があり、発症率はキャリアの5%で発症数は年間1000人です。

No.S18(成人T細胞白血病(ATL))

感染者の20%は性行為によって、60%は母乳によるものです。母乳をやめる完全人工栄養が奨められています。

No.S19（伝染性紅斑、リンゴ病）

原因はヒトパルボウイルスB19（PVB19）です。子供の頬が赤くなるリンゴ病を起こします。4～5年周期で流行します。かかると一生免疫ができます。

No.S20（伝染性紅斑、リンゴ病）

妊婦の抗体保有率は50%以下。妊婦が初感染すると約20%で母子感染し、4%で胎児の貧血や水腫が生じるが多くは重症になりません。

